

立川談志

来る!!

市民健康づくり講演会

テーマ: 健康に老いる ー痴呆を考えるー

日時: 平成16年5月14日(金) (開場) 午後7時 (開演) 午後2時

会場: 北九州芸術劇場 大ホール
(リバーウォーク北九州内)

出演者: 落語家

立川談志

精神科医

西島英利



たてかわ・だんし 落語家 1936年東京生まれ。16歳で柳家小さんに入門。22歳で真打になり、五代目立川談志を襲名する。71年には参議院議員に当選。83年真打制度を巡って落語協会と対立し、落語協会を脱退。立川落語会を創設、家元となる。著書に「現代落語論」「あなたも落語家になれる」「談志人生全集」(全三巻)など

にしじま・ひでとし 精神科医、日本医師会常任理事、小倉蒲生病院理事長。1977年日本医科大学医学部卒業。84年医療法人小倉蒲生病院小倉看護専門学校理事長。94年北九州市医師会理事。98年日本医師会常任理事。厚生労働省の「精神障害者の雇用の促進等に関する研究会」「精神障害者の地域生活支援の在り方に関する検討会」などや(社)全国訪問看護事業協会の「地域の痴呆性高齢者を理解するための啓発事業」の委員を務める。

今回は健康と痴呆をテーマに立川談志師匠と師匠の友人である小倉蒲生病院の理事長・精神科医の西島英利氏との対談です。

人一倍、健康には気を配り、主治医からは「また来たの」と言われるほど、健康診断にはよく行くと言う談志師匠。痴呆について、皆さんと一緒に考えてみませんか?

問い合わせ先 北九州市医師会事務局 (093)513-3811

入場無料

